



## JR東海ユニオン地方議員団会議「第28回研修会」 第2回政治政策担当者会議@静岡県磐田市にて開催

### 安心できるまち！共に創ろう魅力ある磐田

### JR東海で学んだ社会を支える責任と誇りを胸に、

### 市政に邁進している草地市長(元ユニオン組合員)との意見交換を実施

5月29日、JR東海ユニオン地方議員団会議「第28回研修会」を静岡県磐田市にて開催した。本研修会は、JR連合が進める「チーム公共交通」「チーム地域共創」の取り組みと連動した地方自治体訪問として実施し、磐田市の交通政策を学ぶ貴重な機会となった。

当日は、草地博昭市長（元JR東海ユニオン組合員）より、政治を志した背景や市政に対する想いについてご講演いただいた。JR東海での経験が現在の市政運営にも活かされていること、地域に寄り添う姿勢など、多くの示唆に富むお話を伺うことができた。

また、ご来賓として「JR連合国会議員懇談会」会長の榛葉賀津也参議院議員をはじめ、交運労協福森事務局次長、JR連合今井事務局次長、石川産業政策局長、谷口組織政治局長、さらに地元・磐田市選出の沢田静岡県議員、芥川磐田市議会議員にもご臨席いただき、地本総支部の執行委員長・政治政策担当者とともに研修会を行った。

磐田市役所からは、自治市民部自治デザイン課交通政策グループより、地域公共交通の現状、今後の方向性、そして目指す将来像についてご説明いただいた。地域交通の重要性を再認識するとともに、労働組合として自治体と連携し、地域交通を守り育てていく必要性を強く感じる内容であった。

今回の研修を通じ、地域の実情を踏まえた交通政策の理解を深めるとともに、地方議員団会議としての役割と連携の重要性をあらためて確認することができた。今後も、地域との協働を進めながら、地方議員団会議の取り組みを一層活性化させていく。



榛葉会長



JR東海ユニオン地方議員団会議「第28回研修会」  
東海旅客鉄道労働組合 2026年5月29日@静岡県磐田市



磐田市 草地市長

**■草地市長ご講演「わたしの履歴書」から抜粋**

JR東海で働くことは、決して楽ではない。安全を守る厳しさ、見えない積み重ね、社会を支える責任。しかし、信頼される会社で働き、社会を支える仕事に携わっていることは、誇るべきこと。

一方で、社会には格差や貧困、孤立がある。車窓から見える一軒一軒の家の明かり―その暮らしを想像し、地域に少しでも関わっていただけたら嬉しく思う。

みなさんの「小さな一歩」が、人を救い、地域を支え、そして新しい景色を見せてくれる。私は品川駅で学んだ「Ambitious Japan」の精神を今も大切にしている。

「突き進めば奇跡も起きる。立ち止まらない、振り返らない。やるべきことをやるだけ。」

どうかJR東海ユニオンのみなさんも、日本と地域の屋台骨を支える尊い業務をこれからもよろしくお願ひしたい。



参考)  
磐田市地域公共交通計画